

◆工事用アルカリ性排水中和装置の 改良及び販路開拓

近畿基礎工事株式会社

大阪市西区南堀江3丁目14番12号
TEL : 06-6535-0085
FAX : 06-6535-0106
E-mail : himoto@kinkikiso.co.jp
H P : <http://www.kinkikiso.co.jp/>

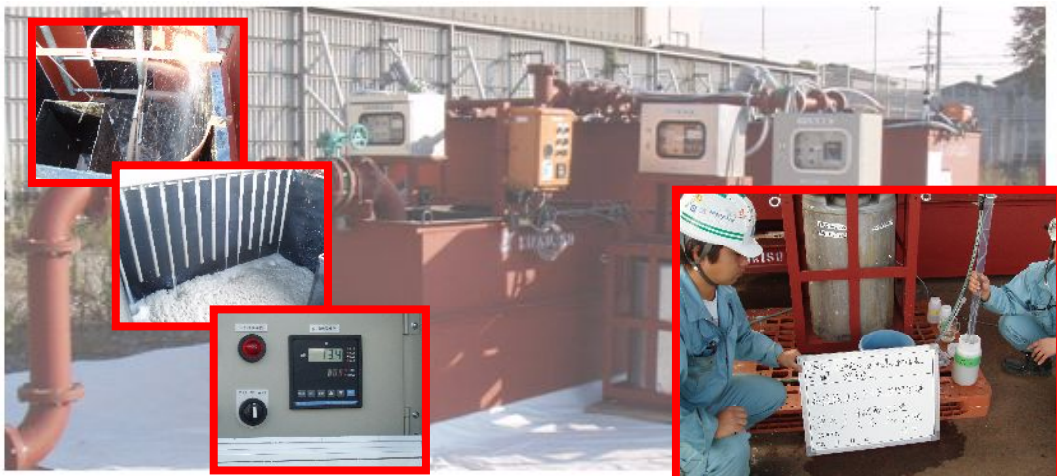


【 事業概要 】

地域の大学（大阪市立大学）と連携することで、①工事用アルカリ性排水の中和に関する新中和剤及び酸性廃棄物の適用調査、②革新的な攪拌技術や検知システムの開発を可能とし、技術力・専門性の高いオンリーワン企業として大阪発のブランド化を図る産学連携事業です。

現在幅広く使われている中和剤は希硫酸か炭酸ガスですが、より効率の良い中和剤に置きかえ、さらに酸性廃棄物をアルカリ中和剤としてリサイクルできる可能性を調査して、環境面・安全面・コスト面において、極めて効率的なシステムの開発に取り組みます。

中和漏れが少なく攪拌精度の高い装置に改良するとともに、新しい循環方式を考案し、放流直近のPH値を検知して排水基準値を越えると中和装置へ還流する設計とするなど安全度が高く、また、建設現場での利便性を考慮した小型で高性能な装置としてその販路開拓を目指します。



◆授産施設と連携した 大衆向けオートラミネーター自動機の 開発及び販路開拓

株式会社ラミーコーポレーション



大阪市福島区福島6-4-11
TEL : 06-6453-3965
FAX : 06-6453-1554
E-mail : post@lami-corporation.co.jp
H P : <http://www.lami-corporation.co.jp/>



【 事業概要 】


この事業では、コンビニ等向けのオートラミネーター自動機「Revo-X」を新たに開発します。

家族等のプリントアウト写真などが手軽に保存できるオートラミネーター自動機をコンビニ等に設置すれば、コピー機と同様に、誰もが身近にラミネートできるようになります。デザインにおいても皆に親しまれる斬新なデザインを構築し、大阪発信ブランド商品力を高めます。

また、授産施設で組立てができる設計とするなど、授産施設と連携した自立支援事業のモデルケースとして、大阪から全国に向けて発信していきます。



◆ガラス精密成形技術と独自デザインによる 遠近両用2重焦点眼鏡レンズの 新商品開発と販路開拓

オーエムジー株式会社 

大阪市平野区加美鞍作 2-16-13
TEL: 06-6791-2761
FAX: 06-6794-2702
E-mail: info@omg-opt.co.jp
HP: <http://www.omg-opt.co.jp/>



【事業概要】

大阪市には、高い技術と熟練した技を誇りとするガラス製品・眼鏡製造業が集積しています。しかし、近年は海外からの廉価な製品の輸入が増え、価格競争の激化とともに品質面での問題が顕在化しつつあり、安全で安心ができる、独自デザインによる大阪ブランド製品を望む声が上がってきています。

こうした中、オーエムジー株式会社では、ガラス精密成型技術による2重焦点眼鏡レンズ製造手法を開発して、平成19年に特許を出願しました。

この事業では、これらの技術を用いた独自デザインによるガラス偏光レンズ使用サングラスやガラスレンズ使用遠近両用眼鏡を開発し、日本発の特許技術製品をアメリカやヨーロッパ、中国へも販売して、知的財産権によるビジネス展開を目指します。

新製品の生産・販売を地元企業と提携し、大阪発のブランドを世界に飛翔させることがこの事業の目的です。



二重焦点偏光メガネの小玉をワイドに設計。
ワイドビューバイフォーカル
トップ/ボトム



- 意匠登録出願中
Design registration pending
- 製造特許出願中
Manufacture patent pending
- PCT (国際特許) 出願中
PCT international patent pending

◆地肌に直接薬剤を塗布しない 安心・安全なカラー・パーマの施術方法の 確立と普及

株式会社我楽多

大阪市天王寺区烏ヶ辻1-8-9
TEL: 06-6772-4314
FAX: 06-6772-4324
E-mail: garakuta@f7.dion.ne.jp
HP: <http://www.garaku-ta.com/>



【事業概要】

美容室における従来のカラー・パーマは、直接地肌に薬剤を塗布する施術方法であったため、刺激痛があるなど、ひどい時はかぶれを起こすこともありました。また、薬剤に含まれる化学物質（合成界面活性剤等）は、皮膚から体内に侵入して健康を害する「経皮毒」として、美容業界では改善が求められています。

そこで株式会社我楽多では、直接地肌に薬剤をつけないでカラーを染め、パーマを施す新しい技法「タウ・システム」を開発しました。これにより、顧客はかぶれや刺激を感じることなく施術を受けることが可能となります。

この「タウ・システム」をブランドとして確立、展開し、同業他社にも「タウ・システム」の導入を促進して、大阪の美容業界の活性化を図る計画です。



タウ・システムとは、有害な化学物質からお客様の髪と地肌を守り、髪本来の美しさを取り戻す一連の技術システムです。

①地肌・診断

毛髪だけでなく、地肌の健康もチェックします。



健康な地肌

②石けんシャンプーの使用

シャンプーは、健康や環境に配慮した石けんシャンプーを使用します。



軟水器



③軟水器の導入

軟水器は、水道水のMg、Caを除去しお肌にとてもやさしい水をつくれます。

④パーマ・カラーの塗布は「ゼロ塗布」

地肌につけずに、パーマ剤やカラー剤を塗布します。当社が独自開発したオリジナル技術です。（特許申請中）



カラー剤のゼロ塗布

⑤タウローションで地肌・毛髪の保護

万一、地肌に薬剤がついてもタウローションが守ります。



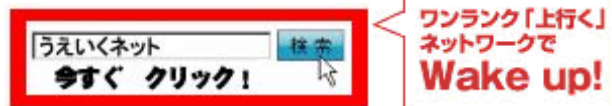
パーマ剤のゼロ塗布



◆上六周辺の観光 & 生活情報サイトの構築・運営等による 上六地域広告・集客事業

M・Yプレジャー株式会社

大阪市天王寺区上汐3-2-20
TEL : 06-6771-7211
FAX : 06-6771-7215
E-mail : tenshige@s2.dion.ne.jp
H P : http://www.ueroku-wake.net/



【 事業概要 】

- ◇ 上六周辺の観光・生活情報サイトの構築、運営
上町台地の地域活性化や集客の動きは以前から個々にいろいろな形で行われていますが、縦横のつながりや地域外へのPRが希薄です。そこで、地域の店舗（企業）がお互いを紹介しあいユーザーを巡回させる店舗（企業）登録型の広告サイトをつくり、これまでの活動と連携しながら上町台地の歴史や文化、伝統芸能を地域内に紹介するとともに、地域外にも観光情報として発信し、地域のネットワーク基盤を整えます。
- ◇ 地域の住民向けに、店舗・町会・イベント・観光スポットのスタンプラリー（有効期間3ヶ月）を開催し、地元の人にもっと地域のことを知っていただき、地域内での活性化を図ります。
- ◇ イラストマップを作成し、地域内外に配布して店舗や観光スポットの回遊率を高めます。

この事業を通じて地域全員の協力体制を確立し、さらに大きな力にして、新しい集客イベントの企画などに取り組んでいきます。

◆姿勢制御機能付自走式農業用ロボット台車の開発及び販路開拓

株式会社津川製作所



大阪市阿倍野区北畠2丁目8番44号

TEL : 06-6659-6675

FAX : 06-6652-2732

E-mail : info@tsugawa.co.jp

H P : http://www.tsugawa.co.jp/



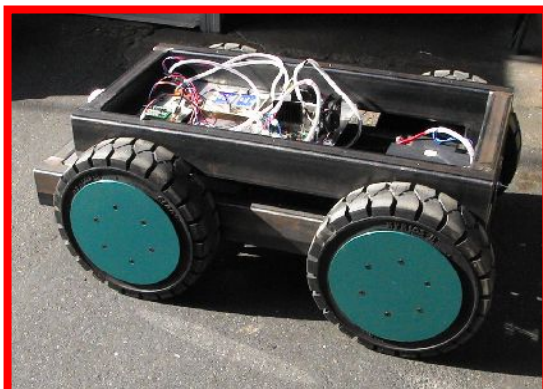
【事業概要】

ものづくり活性化の基盤となる中小部品供給メーカーが集積する大阪市。その中で、株式会社津川製作所は、特に高い電機・電子技術をもってモーター式姿勢制御機能を備えた屋外自走型ロボット用台車を開発し、量産販売を行います。

この事業では、①株式会社津川製作所が持つリニア・モーター技術、②株式会社津川製作所が参画する「大阪市内の産学連携で進めるローボ」で策定したロボット制御インターフェイス規格（RT）、③制御基板の一貫製作技術を有する基板メーカーとの連携 の3つの要素技術を活用した小型軽量の姿勢制御機能付自走型台車を開発します。

新製品の特徴は、農業用や下水管点検用など狭小、不整地の場所でも傾きが自動的に制御でき、果樹や野菜の種類に応じてカスタマイズが可能な台車で汎用性も高く、様々な農業用ロボットの足回りとして最適なところです。

この台車で全国にある農業機械メーカーの受注を一手に引き受け、それを通じて大阪市内の中小製造業ブランドの優位性をアピールし、大阪中央地域の活性化に繋がられるよう事業を展開します。



◆千間川沿いの 古民家再生(複合商業施設)プロジェクト

六波羅真建築研究室 (六波羅 雅一)

大阪府中央区谷町6-17-43
TEL: 06-6767-1906
FAX: 06-6767-1904
E-mail: Rmasa@aol.com
HP: <http://roku-hara.com/>



【事業概要】

城東区と東成区の区界を成していた千間川は現在、河内平野西部が水郷地帯であった名残の川跡として公園などに整備されています。川の両岸は近代に入り都市化が進み、中小工場と住宅地の混在地帯へと変貌しました。その後、工場移転が進み、マンション等が建ち並びましたが、そのなかに長屋や文化住宅、旧集落など地域の近代史を表す建物、そこでの暮らしや文化を伝える地域コミュニティが今も息づいています。

～千間川跡のほとりに建つ古民家を複合商業施設として再生し、
マンション等への転入者や昔を忘れかけた既存住民に、
人や地域とつながる昔ながらの暮らしの再生をめざす～

その拠点づくりを目指します。

大阪・空堀や堺・諏訪ノ森などでの経験を踏まえ、想いを共有し合えるテナントとともに、歴史文化を伝える多彩なイベントを展開するなど、地域とのつながりづくりも務めるコーディネーター役として、少し立ち止まって振り返り、それから前を見据えるまちづくりを試みる拠点に育てていきます。

